

地域の経済動向（令和3年10～12月期）
《十勝地域》

1 経済動向に係る企業等の声（10～12月期）

【製造業】

- ・コロナの影響については、悪くなった部分と良くなった部分があり、学校給食やレストランに卸しているメーカーへの供給は落ちているが、一方で、緊急事態宣言の影響により自宅で食される方の需要が高まっている。（食品製造業）
- ・新型コロナウイルス感染症による直接的な影響はないが、昨今の半導体不足の影響が出始めている。（製造業）
- ・拡販を狙っているが人手が足りず、手が回っていない状況。コロナ禍であることから、先の状況が見据えにくく、一度売上が良くなっても、安定して雇用ができるかどうかの判断が難しい。（食品加工業）

【運輸業】

- ・原油価格の高騰が経営を圧迫している。（一般貨物自動車運送業）
- ・即戦力の人手が足りない。新人を教育する余裕も無い。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

- ・業績はある程度横ばいで維持しているが、採用面で土木設計部門の新規採用がなかなか進まず苦戦している。（土木建築サービス業（建築設計業））
- ・10月に緊急事態宣言が解除となったおかげで、10月後半からは客入りも良くなり、2年前（コロナ前）程度に戻りつつあるが、やはりまだ道内客が主であるため、急激に回復する雰囲気ではない。（宿泊業）





【関係機関・団体】

- ・町内水産加工業にとっては、コロナにより大きな影響を受けている中での赤潮被害であるため、資金繰りや町内の雇用（特に女性のパート等）への影響が懸念される。（商工会）
- ・市町村の割引制度と新しい旅のスタイルが併用できることもあり、割引効果で宿泊客は週末を中心に増加傾向となっている。まだ平日には空きがある状況であるが、年末年始の予約も入り始めており、満室の宿泊施設もあると聞いている。しかし、現在はコロナ禍ということもあり割引制度が充実しているが、コロナが収束し割引制度がなくなった時に、客入りが悪くなる可能性があることを懸念している。（観光協会及び宿泊業）

2 道内金融機関から見た地域景況感 (10~12月期)

① 非常に好調 	② 好調 	③ やや好調 	④ 普通 	⑤ やや低調 	⑥ 低調 	⑦ 非常に低調 
---	--	--	--	--	--	---

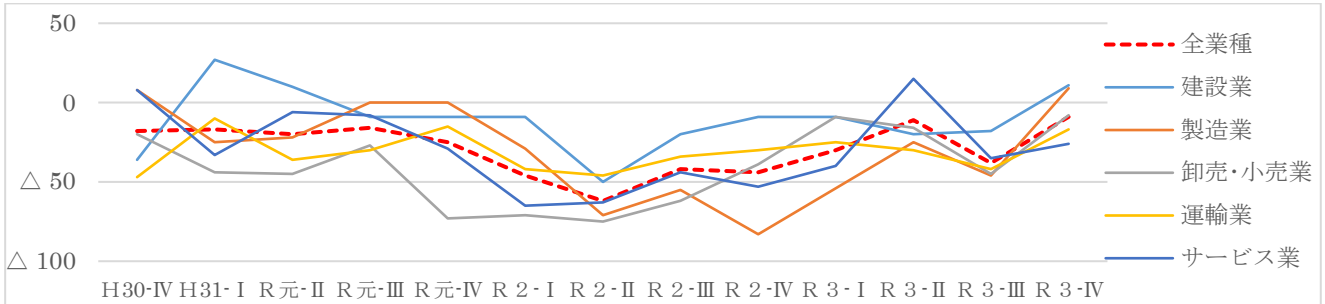
【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				<p>当金庫が実施した 10-12 月期の地域企業景気動向調査では、地域企業の「業況判断 DI」は△24 と、前期実績および前回調査時点からの見通しから上振れ、「悪い超」幅を縮小した。「売上額」は前期比横ばい、「収益」は前期比やや悪化した。これは、「仕入・材料価格」が既往最大の「上昇超」幅を記録したことなどによる。生産動向については、製造業の「業況判断」は食料品、建設用金属製品等の改善を受けて6期連続で前期比改善した。消費動向については、小売業の「業況判断」は緊急事態宣言の解除を受けて飲食店、衣服・身回品等の「業況判断」が「悪い超」幅を大幅に縮小したことなどから、前期比改善とした。</p>		<p>来期の「業況判断」は△28 と、今期から小幅ながら悪化の見通し。「売上額」、「収益」はいずれも 2020 年 1-3 月期並みの水準まで「減収減益超」幅を縮小した。この間、「販売・料金価格」、「仕入・材料価格」はいずれも今期実績比「上昇超」幅をやや縮小するも、依然として高止まりしている。「人手」は今期比悪化し、再び人手不足感が強まってきている。</p>

【景況感の推移】

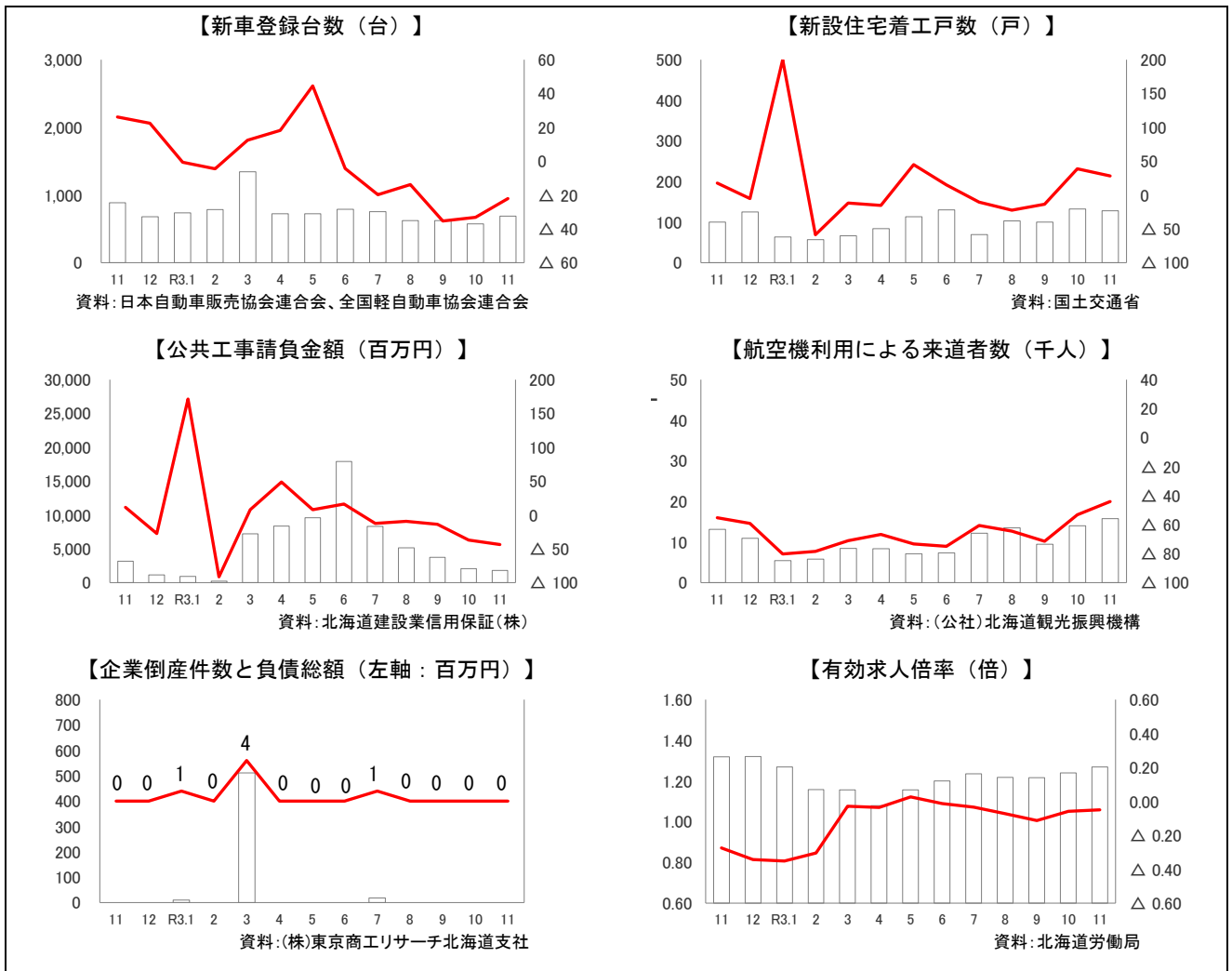
	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV
帯広信用金庫								

3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	H30-IV	H31-I	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV
全業種	△ 18	△ 17	△ 20	△ 16	△ 25	△ 46	△ 62	△ 42	△ 44	△ 30	△ 11	△ 38	△ 9
建設業	△ 36	27	10	△ 9	△ 9	△ 9	△ 50	△ 20	△ 9	△ 9	△ 20	△ 18	11
製造業	8	△ 25	△ 22	0	0	△ 29	△ 71	△ 55	△ 83	△ 54	△ 25	△ 46	9
卸売・小売業	△ 20	△ 44	△ 45	△ 27	△ 73	△ 71	△ 75	△ 62	△ 39	△ 9	△ 16	△ 45	△ 8
運輸業	△ 47	△ 10	△ 36	△ 30	△ 15	△ 42	△ 46	△ 34	△ 30	△ 25	△ 30	△ 42	△ 17
サービス業	8	△ 33	△ 6	△ 8	△ 29	△ 65	△ 63	△ 44	△ 53	△ 40	15	△ 35	△ 26

4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同期比、その他は前年同期比(差)：%)